

平成二十九年 度 大妻中野中学校 海外帰国生入学試験 十月二十二日 問題用紙
(シンガポール会場)

国 語

受 験 番 号	
番	
	氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて全部で6ページあります。
- (二) 試験開始後、ただちにページ数を確認して下さい。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに受験番号と氏名を忘れずに記入してください。受験番号は算用数字で記入して下さい。
- (四) 試験時間は四十分です。
- (五) 解答は全て解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問五 次のことわざの に当てはまる漢字一字を下のア～ウの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|------------------------|--|---|----------------------|--|---|----------------------|--|---|---------------------|
| ① | ぬれ <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> に粟 <small>あわ</small> | | (苦勞せずに利を得ること) | | ア | 顔 | | イ | 手 | | ウ | 足 |
| ② | 泣き面に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | | (災難や不幸が重なること) | | ア | 雀 <small>すずめ</small> | | イ | 蛙 <small>かえる</small> | | ウ | 蜂 <small>はち</small> |
| ③ | 早起きは <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | | 文の徳 | | ア | 三 | | イ | 五 | | ウ | 七 |
| ④ | 立て板に <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | | (弁舌がすらすらとよどみないさま) | | ア | 雪 | | イ | 雨 | | ウ | 水 |
| ⑤ | 住めば <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> | | (住み慣れればどんな所でも住みよくなること) | | ア | 花 | | イ | 都 | | ウ | 夢 |

問六 次のことわざ・慣用句・四字熟語の意味をあとのア～シの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|-------|--|---|-------|
| ① | 口が過ぎる | | ② | 腰をすえる |
| ③ | 虎の子 | | ④ | 五十歩百歩 |
| ⑤ | 矛盾 | | | |
-
- | | | | | |
|---|-----------------|--|---|----------------|
| ア | 大切にしている手ばなさないもの | | イ | 物事に迷って思案にくれること |
| エ | 落ち着いて物事に接すること | | オ | 前後のつじつまのあわないこと |
| キ | 本質的には大差がないこと | | ク | 非常に驚いて立てなくなる |
| コ | 小言をいうこと | | サ | 物事がなかなか進まないこと |
| | | | シ | 失礼なことを言うこと |
| | | | ウ | 同じ事をくり返し言うこと |
| | | | カ | 仲の悪い者が一つ所にいること |
| | | | ケ | 幼い時の友だち |

C 文法・言葉遣いに関する問題

問七 次の①～⑤の傍線部と同じ意味・働きをしているものをア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 日本の行く末が案じられます。

ア 先生がよくこちらに来られます。

イ 秋の気配が感じられた。

ウ 反省の色が見られない。

エ、犬に追いかけて困った。

② 彼女はとても悲しそうだ。

ア 明日は都合がよいそうだ。

イ 学校に迎えが来るそうだ。

ウ かえって時間がかかるそうだ。

エ 間もなく雪が降りそうだ。

③ 遠慮ない意見をぶつけられる。

ア そんなこと知りたくはない。

イ ここでは話せない。

ウ 君にはアライがない。

エ ご親切かたじけない。

④ 辞書を見るとよくわかる。

ア 弟と映画を見に行く。

イ 飛行機と車で旅行する。

ウ 秋になると実がなる。

エ 合格できると思った。

⑤ 寒さで手がかじかむ。

ア 飛んで火にいる夏の虫。

イ 学校でプールに入る。

ウ 火事ですべてを失う。

エ 私は中学生である。

問八 次の [] に入れるのにふさわしい語を、ひらがなでそれぞれ指定した字数で答えなさい。

- ① もうすぐ春だという [] 、外には雪が舞っている。 【二字】
② もはや、その計算はクラスの中で彼女に [] 解けなかった。 【二字】
③ 遊びに行きたい [] 、遊びに行くひまがない。 【三字】
④ 大人で [] 難しい問題を、子どもたちが挑戦している。 【二字】
⑤ どんなに失敗し [] 私は決してあきらめはしない。 【二字】

D 作文

問九 あなたが今住んでいる国について、「すばらしい」と感じることを百五十文字以内で紹介してください。また、理由も述べてください。

以上